

「関西宇宙フォーラム」

入場
無料

(関西宇宙イニシアティブ)
キックオフ記念

テーマ

～宇宙開発における関西の役割～

【一部 (13:30 - 15:30)】 講演

- ・ 基調講演 「宇宙開発のこれまでとこれから」
畚野 信義 東海大学教授、前国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長
- ・ 招待講演 「我が国の宇宙開発における関西への期待」
池上 徹彦 前会津大学学長：宇宙開発委員会委員
- ・ 特別講演 「宇宙開発における関西のポテンシャル・役割・貢献」
松本 紘 京都大学 理事 副学長
- ・ 特別講演 「アジアにおける宇宙開発戦略」
梶井 誠 宇宙航空研究開発機構執行役 (国際担当)

【二部 (15:45 - 16:45)】 円卓会議

「宇宙開発における関西の戦略は何か？」

コメンテータ

- ・ 松本 紘 京都大学 理事 副学長
- ・ 大久保博志 大阪府立大学大学院教授、小型宇宙機システム研究センター長
- ・ 河崎善一郎 大阪大学大学院教授
- ・ 稲田伊彦 三菱電機株式会社 宇宙システム事業部 顧問、元宇宙航空研究開発機構執行役員
- ・ 吉川一雄 (株)エイ・イー・エス 代表取締役社長
など、講演講師、発起人などで構成

コーディネータ

- ・ 畚野信義 東海大学教授、前国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長

【三部 (16:45 - 17:00)】 「行動する会」設立セレモニー

【四部 (17:30 - 19:30)】 交流会 (会費制) : 9F大阪大学中之島センターサロン

日時

2008年3月28日(金)
13:30 ~ 19:30まで

場所

大阪大学中之島センター(大阪中之島)
10階ホールなど (福島、肥後橋から徒歩10分)

主催：「関西宇宙イニシアティブ」発起人会 (代表：畚野信義)
後援 (予定)：近畿経済産業局、大阪府、大阪府立大学
協賛：日本航空宇宙学会関西支部
協力：宇宙航空研究開発機構、(株)FUDAI

お申し込み方法：関西宇宙フォーラム (3月28日) 参加；氏名、所属、メールアドレスを記入の上、メールまたはfaxで。(受付は先着順で140名まで)

事務局連絡先：Email: H16FUDAI@osaka.nifty.jp TEL/FAX 072-254-8400 (株)FUDAI中山・奥村

「関西宇宙イニシアティブ」 (関西の宇宙開発のこれからを語り行動する会)

趣意書

東大阪の小型衛星SOHLA1(愛称まいど1号)はいよいよ打ち上げが近づきました。言うなれば、関西の宇宙開発は前座口上が終わり、いよいよ第一場の幕が上がることとなります。今こそ、広い視野と柔軟な発想で宇宙開発の将来を考え、的確に判断し、強い発信力と着実な実行力を持って、関西における永続的な宇宙開発の展望を開くべき時であります。

我が国の宇宙開発は、予算、国際的・通商的問題等、様々な制約条件の下に進められてきました。研究開発の分野でも、総合科学技術会議が定める4重点項目には含まれず、ロケットの失敗や衛星の不具合もあり、苦難の時代が続きました。しかし第3次科学技術基本計画では、宇宙開発はフロンティア分野としてエネルギーなどととも、我が国の科学技術の研究開発において重要な役割を果たすと位置付けられました。我が国のこれからの宇宙開発の中で、関西はどのような役割を果たせるか、どのような役割を果たすべきかを見極め、行動を起こす時であります。

今この瞬間をとっても、百万を越える人が空を飛んでいると言われていています。数十年前、これほど多くの人々が飛行機で旅するとは、夢にも思っていませんでした。今はまだ宇宙へ行ける人は限られていますが、数十年後には人類の活動は大きく宇宙に確実に広がって行っているでしょう。地球環境問題で世界が大きく動き出していることも、地球規模・宇宙規模での変革の時代の到来を予感させます。インターネットや携帯電話の情報通信技術が僅か十年ほどで社会生活を大きく変えたことを実感します。20数年前役所が高度情報通信社会へと旗を振り始めた時、それから少しして企業が期待し始めた時、今ほど大きくブレイクするとは誰も思っていませんでした。言い換えれば、「官が旗振るほど、産が期待するほど早く動かないが、時代は確実に動く、それを見通して早く踏み出したものが勝つ」。

関西では宇宙産業の芽が出てきたところであります。この芽を中核として、小型衛星技術の研究・開発・利用と宇宙関連ビジネスの推進、新進研究者・技術者の養成、宇宙への夢を通しての科学少年の育成、地元産業界への波及などが期待されます。これら関西における宇宙開発の可能性を実現するためには、今後どの方向を目指し、どのように展開して行くかを、早急に議論し、戦略を定め、実行に移すことが必要です。宇宙開発が我が国の研究開発戦略の中で大きな柱となってきた今、宇宙開発の次なる推進力として期待される小型衛星の開発・利用の芽を関西で開花させ実らせることは、関西の地域振興のみならず、我が国の宇宙開発に重要な役割を果たせると考えます。ここに、宇宙開発の動向、我が国の宇宙開発、その中での関西の役割について、考え、語り、行動する場を設け、以下の活動を行うことに致しました。

- 1 関西における宇宙開発の位置付け・役割と今後の方向性を示す。
- 2 展望を具体的に切り開く戦略的なプロジェクト等の提言と推進を行う。
- 3 企業、関係機関及び団体の参加と協力を得るための中核的な役割を果たす。

2008年2月1日

発起人一同

発起人

2008.2.8 現在

畚野信義 東海大学教授、前国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長

松本 紘 京都大学 理事 副学長

稲田伊彦 三菱電機株式会社 宇宙システム事業部 顧問、前宇宙航空研究開発機構執行役

大久保博志 大阪府立大学大学院工学研究科教授、小型宇宙機システム研究センター長

黒河宏企 京都大学名誉教授、前京都大学大学院理学研究科附属天文台長

河崎善一郎 大阪大学大学院教授

賀谷信幸 神戸大学大学院教授

吉川一雄 株式会社 エイ・イー・エス 代表取締役社長

東久雄 (株)FUDA I 宇宙開発事業担当役員、大阪府立大学客員教授、立命館大学特別招聘教授

小川信夫 NPO理事

杉本日出夫 株式会社大日電子 代表取締役、東大阪宇宙開発協同組合 理事

以上

事務局：浅野幸治 大阪府立大学大学間連携コーディネータ & (株)FUDA I